

当社は社会とのつながりを大切にし、さまざまな社会貢献活動を実施しています。台風で被害を受けたフィリピン被災地域への国際的な支援をはじめ、地域の清掃活動や工場見学会の開催、同業社との交流会への参加などを行っています。

フィリピン被災地域への支援

2013年11月の台風30号により、フィリピンの広範な地域において、暴風・高潮災害が発生し、甚大な被害を受けました。当社は、使用する鉱石の多くをフィリピンから輸入しており、現地事務所も設置していることから、フィリピンとはとても深い結びつきがあります。当社現地事務所や鉱石調達先には幸い被害はありませんでしたが、台風による被害を受けた支援として、当社は日本赤十字社を通じてフィリピンへ救援金1,000万円を寄付しました。

救援金を寄付したことに対し、国から紺綬褒状が贈られました。2014年11月10日、東京本店において紺綬褒状の伝達式があり、佐々木社長が日本赤十字社より褒状を受け取りました。



紺綬褒状を受け取る佐々木社長（写真左）

地域の清掃活動

当社は原材料や製品の運搬の際に臨港地区の公道を使用しているため、当社所有の道路清掃専用車両を用いて、路面のクリーン化に努めています。2014年度はフェロニッケルスラグを運搬している八戸市是川地区において、4月と11月に清掃活動を行いました。



専用車両による道路清掃

工場周辺の清掃活動

地域環境美化と社会貢献を目的に、工場周辺の清掃活動を行っています。2014年度は、7月に本事務所メンバーで岸壁駐車場を中心に清掃を実施しました。10月には、当社社員だけでなく協力会社からも参加いただき、約50名で当社工場周辺および臨界道路の清掃を実施しました。今後も清掃活動を継続していきます。



清掃活動の様子

工場見学会の実施

八戸工業高校による「地域企業を知るための見学会」に協力し、生徒を対象とした工場見学会を毎年行っています。2014年度は7月に材料技術科の生徒35名と先生方が参加し、フェロニッケルおよび廃棄物リサイクル事業製造工程を見学しました。今後も、工場見学会を通じて地域の子どもたちに鉄鋼業もののづくりの魅力を伝えていきます。



工場見学会の様子

ニッケル4社環境安全交流会への参加

当社は、ニッケルを製造する他企業3社とともに、各社の環境・安全に関わる問題点について情報共有する目的で2009年に「環境・安全交流会」を発足しました。ニッケルに関する法規制の動向や対応状況、鉱石・スラグから発生する粉じん対策などについて、これまで意見交換を行ってきました。

2014年10月に行われた交流会では、「最近の環境・安全・防災に関する取り組み」をテーマとして

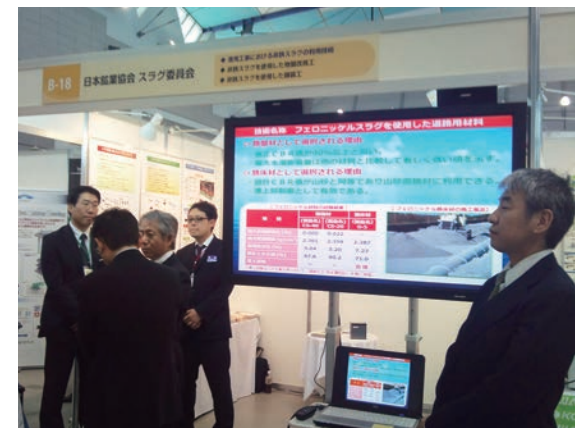
各社の取り組みを共有し、議論しました。当社からは、「排水終末処理施設の稼働」、「労働安全衛生に対する取り組み」を報告しました。この交流会に参加することによって、各社の動向や取組事例について情報共有ができることから、非常に有意義なコミュニケーションの場となっています。

展示会への参加

「EE 東北'14」が2014年6月4日と5日の2日間、仙台市宮城野区の「夢メッセみやぎ」で開催されました。「EE 東北」は、産学官一体となって建設事業に関わる新材料・新工法など、時代のニーズに対応して開発された新技術を公開する展示会であり、今回で24回目の開催となります。

当社は日本鉱業協会スラグ委員会の一員として出展に参加し、「フェロニッケルスラグを使用した道路用材料」の紹介を行いました。2014年度は出展者数298、出展技術数782、来場者数12,800人と過去最大規模となりました。

今後も展示会への参加により、当社の環境に貢献する製品・技術・サービスの紹介をしていきます。



EE 東北'14での展示

当社八戸本社（製造所）が位置する八戸市は、太平洋を臨む青森県の南東部に位置し、なだらかな台地に囲まれた平野が広がっています。臨海部には大規模な工業港、漁港、商業港が整備されているため、全国屈指の水産都市であり、北東北随一の工業都市となっています。当社では、地域の諸団体への協賛をはじめ、サッカー場の提供、地域イベントへの参加など地域活性化に努めています。

地域社会への貢献

当社は、地域社会との共生を目指し、地域の諸団体への寄付や協賛を行っております。2014年度は、さまざまな森づくり・人づくり活動の活性化を進めている「青森県緑化推進委員会」への寄付をはじめ、「八戸市を緑にする会」、「八戸年中行事協賛会」に協賛し、地域の活性化に貢献しています。

地域イベントへの社員の参加

当社が八戸本社（製造所）を置く八戸市では、多くの地域イベント・伝統行事が行われています。

特に、東北有数の華やかさを誇る「八戸三社大祭」および伝統芸能である「八戸えんぶり」は八戸地域を代表する大イベントであり、当社の社員も積極的に参加し、お祭りを盛り上げています。

Hachinohe 八戸 伝統行事 紹介



豪華絢爛な山車



巫女行列



虎舞



加賀美流騎馬打毬

八戸三社大祭

八戸三社大祭は、八戸市内のおがみ神社、新羅神社、神明宮の三社の合同祭礼であり、約290年の伝統と歴史を誇る八戸地方最大のお祭りです。国の重要無形民俗文化財に指定され、毎年7月31日から8月4日までの5日間開催され、期間中100万人を超える観光客が訪れます。にぎやかな囃子とともに、三神社の神輿行列と、最大で幅8m、奥行き11m、高さ10mにもなる豪華絢爛な山車が27台中

心街を練り歩き、八戸市内が熱気に包まれます。三神社の神輿行列では、「巫女行列」や「武者行列」、「神楽」のほか、猿田彦や江戸時代の復元山車や、滑稽な動きで沿道の観客を沸かせる「虎舞」など、多種多様な行列が巡行します。初日の前夜祭と最終日の後夜祭ではライトアップされた山車が展示され、その幻想的な光景は、日本夜景遺産にも登録されています。



えんぶり行列



ながえんぶり

八戸えんぶり

八戸えんぶりは、八戸地方を代表する民俗芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定され、青森冬の三大まつり、みちのく五大雪まつりにも数えられています。毎年2月17日早朝の新羅神社への奉納摺りからはじまり、4日間、八戸市内でさまざまなえんぶりの

公演が行われます。

えんぶりは、豊作を祈願するための舞で、太夫と呼ばれる舞手が馬の頭をかたどった華やかな烏帽子を被り、頭を大きく振る独特の舞が大きな特徴です。その舞の動きは、稲作の種まきや田植えなどの動作を表現しています。

写真提供：八戸市観光課様、当社社員
各イベントの詳細は八戸市ホームページをご覧ください

八戸市ホームページ URL：<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

VOICE

品質管理室
検査分析課

班長 中村 文英



地域の伝統行事の魅力を伝え続けて

八戸地方最大のお祭りである八戸三社大祭において「虎舞」として毎年参加しています。虎に噛まれると、病気をしない、頭が良くなる、などと言われています。喜んで噛まれてくれたり、怖がって泣いたり、子どもたちの反応はさまざま

ですが、見ている人が楽しんでいる姿を見ることが、一番の喜びです。また、冬に行う豊作祈願のお祭り「八戸えんぶり」にも参加しています。大きな烏帽子をかぶった太夫が、笛や太鼓に合わせて摺ります（舞います）。小さい頃舞子で参加していた子どもが大きくなると笛を担当するなど、指導していると子どもたちの成長を感じられることも喜びの一つです。

各組ごとに何度も集まって準備を進めるのですが、小さな子どもから年配の方まで幅広い年代が集まるので、世代を超えた人間の触れ合いが魅力だと思っています。今後は育成に力を入れて、昔の様子を子どもたちに語り継ぎながら、伝統芸能を次世代へ繋いでいきたいです。



子どもたちへの虎舞指導



虎舞の先導



地元地区のえんぶり